

第7回半田市議会定例会 総務委員会委員長報告書

当総務委員会に付託された案件については、12月11日は午前9時30分から、12月15日は午前9時50分から、いずれも委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第64号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の^{のち}後、質疑に入り、主な質疑として、

市民交流センター管理運営費のうち、消耗品費について、パスポート申請者の増加に伴い、収入印紙購入費用が増えたとのことだが、在庫管理は、どのようにしているのか。とに対し、

収入印紙については、一年分をまとめて購入し保管するのではなく、日々の使用状況を確認し、必要数を一ヶ月ごと、計画的に購入しており、過剰在庫とならないよう適切に管理しています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第69号については、補足説明の^{のち}後、質疑に入り、主な質疑として、

このたびの補正により、年間入院患者数を減らした理由はなにか。とに対し、

令和5年度予算作成時では、年間入院患者数について、コロナ禍前の稼働率に近い78%まで回復すると見込んでいましたが、実際の上半期の入院患者数は、コロナの影響が残り、見込みを下回っているため、稼働率を73%に見直し、人数を減らしたものです。とのこと。

物価高騰により継続費が増額となることは理解できるが、費用を抑えるために、どのような取り組みを行っているのか。とに対し、

建設物価公表価格等の資料を参考にするとともに、新病院建設に係る設計の見直しを含めた内容の精査に努め、建設費用の抑制に取り組んでいます。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第72号、議案第73号、議案第74号及び議案第75号については、それぞれ補足説明の^{のち}後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、4議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第76号については、補足説明の^{のち}後、質疑に入り、主な質疑として、

在宅勤務等手当を導入することにした経緯はどのようなか。とに対し、

今年度の人事院勧告^{いんかんこく}において、在宅勤務等を中心とした働き方をする職員は、光熱水費に係る費用負担が大きいことを考慮し、その費用負担を軽減することを目的に在宅勤務等手当を新設することが示されたことから、本市においても同様に導入することにしたものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第77号及び議案第81号の2議案については、それぞれ補足説明の^{のち}後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第83号については、補足説明の^{のち}後、質疑に入り、主な質疑として、

このたびの指定管理者以外には、候補があったのか。また、選定理由はどのようなか。

とに対し、

他に候補団体はありません。本団体は、当該ビルの管理をしており、ビルの活性化に繋げることや、トラブルなどが発生した場合、速やかに対応できるなどの利点を考慮し、選定したものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第84号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の^{のち}後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。